



進路だより

令和3年度

10月号

令和3年10月29日発行

渋川青翠高等学校 進路指導部

(文責 高橋正)

●●3年生の「進路希望状況」と合格・内定状況●●

	大学	短大	専門学校	就職	その他	合計
男子	12	1	23	34	5	75
女子	9	8	48	21	4	90
全体	21	9	71	55	9	165
合格・内定			59	43		
割合	12.7%	5.5%	43.0%	33.3%	5.5%	

現3年生の「進路希望状況」は、昨年度と似た傾向を示しています。若干ではありますが、専門学校希望が減り、大学・短大希望者が増えています。

さて、9月16日(木)から来年度4月新卒入社の就職選考が解禁になり、就職希望者55名のうち43名に内定通知が届いています。10月末現在の就職内定率は78.2%です。今年度の就職試験もコロナ禍のため「オンライン面接」が想定され、その対策も行いましたが、すべて対面での面接となっています。ただし、面接対策は一朝一夕には行きません。早い段階での情報収集や面接練習、そして日々の諸活動に能動的に取り組んでいく必要性を強く感じています。



進学のスケジュールが昨年度から大きく変わり、大学・短大の合格発表は11月以降となっています。そのため、現在合格が出ているのは専門学校のみで、専門学校希望者71名のうち59名にAO入試と一部の推薦入試による合格通知が届いています。10月末現在専門学校の進学決定率は83.1%です。合格者は進学をするわけですから、定期試験や実力テストをペースメーカーとして日々の授業と課題に真剣に取り組んでいきましょう。

●●「AO入試」「総合型選抜」●●

10月にはAO入試と総合型選抜が実施されました。この時期の入試は2学期中間試験と入試の日程が重なります。そのような状況もあらかじめ想定し、AO入試や総合型選抜での受験を希望する生徒は、早期から計画的な入試準備が必要です。大学のAO入試は、昨年度から総合型選抜と名称が変わり、「学力を問わない」AO入試から「学力を問う」入試に変わりました。プレゼンテーション入試を実施するところも増えていて、物怖じをしない、人前でしっかり話ができる、などの素養が試されます。授業中に指名されたら大きな声ではっきりと受け答えをする、発表のある授業では、聴いている人を意識して堂々と伝えるなど、日頃からの心がけを大切にしてください。



社会系学部では、世界や社会の課題について広く関心を持ち自分自身の考えを持つことが求められ、理系や文学・芸術系の学部では、その分野の関心・意欲や専門的知識が高いレベルで求められます。先日配布した「ハイスクールタイムス」などを熟読し、世の中の動向にも関心を持つ習慣を身に付けてください。



また、部活動での顕著な実績も評価されます。部活動に加入し、目標を立てて、目標達成に向けて精一杯努力してください。

大学に進学したいけれど推薦基準に届かないから、基準のない総合型選抜にしよう、などという安易な気持ちでは合格できない入試です。この入試を目指す人は、1、2年生のうちから、学びたい分野をできるだけ早期に決め、実力をつけることが求められます。

●●「学校推薦型選抜」●●

11月からはよいよ大学の「学校推薦型選抜」の出願が始まります。この学校推薦型選抜に「指定校制」と「公募制」があり、出願するにはまず校内の推薦基準を満たす必要があります。

今年度の学校推薦型選抜スケジュール

願書受付	11月1日～
合格発表	12月1日～

本校の推薦基準は次の通りです。評定平均の推薦基準は、平均の評定平均値を基に設定しています。授業に真面目に取り組んでいれば、手が届かないものではありません。

1、2年生はしっかり頭の片隅に入れて基準を満たせるよう、意識して学校生活を送ってください。

推薦基準

①指定校推薦

- ア 欠席日数が3年間を通して10日以内であること。
- イ 遅刻・早退の合計が3年間を通して10回以内であること。
- ウ 3年間、特別指導を受けていないこと。
- エ 原則として3年間の評定平均が3.5以上であること。

②公募制推薦

- ア 欠席日数が3年間を通して20日以内であること。
- イ 遅刻・早退の合計が3年間を通して20回以内であること。
- ウ 3年次に、特別指導の対象となる問題行動がないこと。
- エ 原則として3年間の評定平均が3.3以上であること。

●●オンライン学習●●

新型コロナウイルス感染症の影響で、大学生のオンライン講義が長引いていることが問題となる一方で、この機会に海外の大学と提携し、オンラインで海外の複数の大学の講義を受講できるカリキュラムを取り入れる大学も出てきました。

オンライン講義では、対面の講義と違い、怠けていても注意をしてくれる先生が近くにいないので、学ぶ側の主体的な意欲が問われます。

そもそも有償の高等教育を受けるからには、自分のために学んでいるのだという意識、1講義にいくら払っているのかというコスト意識が欠かせません。もちろん高校も同様です。1時間1時間の授業を大切にして、自分のためにしっかり学んでください。

